

★ 提案24の賛成意見 ★

世界最大の企業が、我々全員の個人データや個人情報を徹底的に収集しています。残念ながら、現在の法律は、個人情報の悪用から我々の家族を守るのには十分ではありません。

2018年、州議会はCalifornia州消費者プライバシー法案 (California Consumer Privacy Act) を施行しました。しかし、それ以来、業界はこの法律の執行を弱め、制限しようと繰り返し試みています。

消費者は強力な保護を必要としています。これが、現在のプライバシー法を強化するために、2020年のCalifornia州プライバシー権利法案 (California Privacy Rights Act) を導入した理由です。

多くの企業が、子供たちを監視するだけでなく、ジムや事務所、また病院にいるときでも、常時私たちを監視しています。私たちの友人、仕事、体重、食事の場所、車を運転する速度、個人的な検索やオンラインで何を見ているかまで知っています。人種、性的指向、宗教といった機密情報も追跡し、販売しています。

自分自身の情報は自分で管理し、機密性の高い個人情報の使用を止めさせる権利を持っていると私たちは信じています。私たち、そして私たちの子供の個人情報が悪用されている：巨大企業は我々の個人情報を売って何十億もの収益を上げています。アプリ、電話、そして車は常に位置情報を提供しています。The California Privacy Rights Actは、あなたが知らずに、またはあなたの許可なしに、ジムやファストフード店に行く回数を保険会社に販売するという、細部にわたって追跡するビジネスを止めさせる権利を与えてくれます。

残念なことに、これらの会社はあなたの情報を保護してくれません。2018年、アメリカでは莫大な1,244,000,000件のデータ侵害があり、446,000,000件以上の記録が流出し、重大な個人情報の盗難を引き起こしました。この法案は、大企業の不注意で、あなた、またはあなたの子供の健康情報や社会保障番号を安全に保管していない場合、多額の罰金を科すことで責任を負わせるものです。

THE CALIFORNIA PRIVACY RIGHTS ACT (カリフォルニアプライバシー権利法) とは：

1. 最も個人的な情報を保護する。健康、貯金、人種、民族性、正確な場所に関する機密情報を企業が使用または共有を阻止することを認める。

2. 青少年の保護、子供の情報に関する違反には三倍の罰金を科する。

3. 企業の個人情報の収集と使用に新たな制限をもうける。

4. 執行機関の設立—California州プライバシー保護機関 (California Privacy Protection Agency)—これらの権利を守り、会社に責任を負わせ、消費者のメールやパスワードの盗難を招く過失に対する罰金を科すなどを含む執行を拡大する。

5. 将来California州での、プライバシーの権利を弱体化させることが非常に難しくなる。特別な利権団体や政治家がCalifornia州のプライバシーの権利を弱体化させることを防ぎ、州民や子供を守るために、消費者のプライバシー強化の第一目標へと州議会に法律の改正をさせることができる。たとえば、データ利用のオプトイン、特に弱い立場にある未成年のためのさらなる保護、侵害する者に責任を負わせる個人の権利の強化など。

THE CALIFORNIA PRIVACY RIGHTS ACTを守るために提案24に賛成票を：

California州ではプライバシー権利の制定で国民を先導してきましたが、大企業は我々の法律を弱体化させるために、ロビー活動に何百万ドルも使用しています。私たちはCalifornia州のプライバシーの法律を強化する必要があります。プライバシー保護を守り、企業が我々の基本的権利を侵害した場合には責任を負わせる必要があります。

詳細についてはwww.caprivacy.orgをご覧ください。

私たちと一緒に提案24に賛成票を投じましょう。

JAMES P. STEYER, CEO

Common Sense Media

ALICE A. HUFFMAN, 代表

California州全米黒人地位向上協会 (California NAACP)

CELINE MACTAGGART, 理事長

California州消費者プライバシー団体 (Californians for Consumer Privacy)

★ 提案24の賛成意見に対する反論 ★

私たちはCalifornia州の人々すべての権利を守るために、毎日働いています。私たちが提案24に反対するのは、大手ハイテク企業に有利な提案で、プライバシーの権利を削減するものだからです。

もし提案24がプライバシー保護を強化するのであれば、私たちはそのために戦います。しかし、実際には、52ページにおよぶ提案はソーシャルメディアやハイテク企業にとって都合の良い文言に満ちたものです。

提案24の資金提供者は州民が提案を読まなければいいと願っています。もし読めば、現在の法律のもと、州民の権利が減少し、大手ハイテク企業に、健康や資金管理アプリや行く場所の追跡データといった州民の個人情報を収集する新たな方法を与えることを知るようになるからです。

提案24では、州民の個人情報を守るために、企業は「プライバシーのための支払い」を請求することを承認させるよう求めています。経済的に苦しめられているCalifornia州の人々にとっては、パンデミック中に不可欠なサービス、医療、学校へ高速インターネットアクセスをするのさえ難しい状況です。プライバシーのための支払いは、人種的にも差別となる影響を及ぼし、労働者、高齢者、黒人、ラテン

系の世帯に対し不釣り合いな高値となっています。富裕層だけではなく、すべてのCalifornia州の人々にはプライバシーの権利があるはずで。

提案24は、California州の人々のプライバシーの権利を裁判所で行使することを制限します。予算削減の最中に作られたこの新しい州の機関は、州民の権利を守るためだと信じさせたいのです。

提案24は、過去に不正で差別的な方法により個人情報から利益を得てきた同じハイテク企業の入れ知恵を受け、水面下で作成されました。Facebookのようにすでに大きな力を持っているハイテク企業の力をさらに強力にするものです。人ではなく、大手ハイテク企業を守る法案です。提案24に反対票を。

KEVIN BAKER, 理事長

Center for Advocacy and Policy, American Civil Liberties Union (ACLU) of California

NAN BRASMER, 代表

California Alliance for Retired Americans

JOHN MATHIAS, Deputy Senior Campaign Director
Color of Change

★ 提案24の反対意見 ★

提案24に反対票を投じましょう。なぜなら、私たちの個人情報を集めて悪用する巨大ハイテク企業の入知恵で水面下で作成された提案だからです。一方、この法案のスポンサーはプライバシーと消費者権利の11の擁護団体からのあらゆる提案を拒絶しています。提案24は、現在のCalifornia州法のもと、州民の権利を著しく弱めながら、プライバシー保護を縮小します。

間違えてはなりません。California州すべての人のプライバシーが危険にさらされています！

提案24の実際の勝者は大手ソーシャルメディアプラットフォーム、巨大ハイテク企業、信用調査会社であり、労働者や消費者のプライバシーを侵害する自由をさらに広げ、州民の信用情報を共有し続けます。これが、52ページにも及ぶ活字では説明されていないことです！

提案24はインターネットでの「プライバシーのための支払い」計画を承認するよう求めています。支払わない人へのサービスは悪くなります。接続が悪かったり、ダウンロードが遅くなったり、ポップアップ広告が増えたりするようになります。裕福な人は高速道路のレーン、その他の人は渋滞した道の電子バージョンというわけです。

現在、雇用主は、従業員や求職者に関し、妊娠追跡アプリの使用、礼拝に行く場所、または政治的講義に参加しているかどうかなどのすべての個人情報入手できます。提案24は雇用主が今後も数年にわたり、これらの情報を内密に収集し続けることを許可し、上司がどんな機密個人情報を持っているか労働者に知らせる、2021年1月1日から始まる新しい法を無効にします。

California州法では、プライバシーの権利はどこにいても守られるものとなっています。しかし、提案24では電話、ウェアラブルデバイス、またはコンピュータを持って州外に出た瞬間に、大手ハイテク企業は州民のデバイスに保存さ

れている健康、財政、そのほかの秘密情報を取得することができます。

個人情報の販売を止めさせるために、ウェブブラウザや携帯電話に、訪問する各ウェブサイトや利用アプリへ信号を送信するよう設定することができます。そうすると、毎回そのことを考える必要もありません。提案24は、企業はこれらの説明を無視し、データを守るためにユーザーに各ウェブサイトやアプリに個別に通知させるという負担を負わせるものです。

提案24の新しい執行機関は良さそうに思えますが、ハイテク企業のプライバシー侵害が見つかった場合、機関に協力するだけでよく、唯一の罰則となり得るものは軽いものです。

California州の新しいプライバシー法は今年発効されました。小規模企業は新しい規制に準拠するために多くのお金を費やしました。この新たな法が機能するのかわかる前に、提案24はそれを書き直し、景気を後退させ、多くの企業が廃業の危機に瀕している中で、さらに費用の負担を強いています。

提案24は、年間数千ドルを費やし、自分たちの利益を損なう法律を防ぐために政府にあらゆるレベルのロビー活動を行い、大手ソーシャルメディアプラットフォームやインターネットとハイテク企業に対応するために作成されました。提案24で、これらの企業は大儲けをし、消費者プライバシーにとっては大きな後退となります。提案24に反対票を。

www.CaliforniansForRealPrivacy.org

TRACY ROSENBERG、代表

Californians for Privacy Now

RICHARD HOLOBER、代表

Consumer Federation of California

DOLORES HUERTA、労働者および公民権リーダー

★ 提案24の反対意見に対する反論 ★

地域社会のリーダーは提案24を支持している

提案24は、消費者のプライバシー選択に関し、企業が消費者を異なる扱いをすることを厳格な禁止するなど、州議会に強力なプライバシー法を通過させることになります。

提案24に賛成して、プライバシー権利を弱める企てを止めさせよう

「私はCalifornia州の虚偽的な名前の団体がプライバシー法を弱めようと企てているのを目のあたりにしてきました。提案24は機密個人情報、子供のプライバシーを守り、個人情報の盗難の防止に役立ちます。これはCalifornia州消費者プライバシー法案 (California Consumer Privacy Act) をさらに強化したものです。提案24に賛成票をぜひ投じてください。」 Robert M. Hertzberg、上院議員、California州消費者プライバシー法案 (California Consumer Privacy Act) 共著者

提案24に賛成して、経済的公平を支持しよう

「FacebookやGoogleといった独占企業は、個人情報を利用してオンラインで見るものを操作して、巨大な利益を得ています。提案24に賛成票を投じて、最も価値のある商品、個人情報の権利を取り戻しましょう。」 Paul Romer、ノーベル経済学賞受賞

提案24に賛成して、人種のプロファイリングをやめさせよう

「提案24は消費者がオンラインで人種のプロファイリングを使用して差別することを会社に禁止することができます」 California NAACP、Alice Huffman、代表

提案24に賛成した健康データを保護使用

「企業が我々の許可なく最も個人的な健康情報を使用するのを止めさせましょう。提案24に賛成票を投じましょう。」

Brad Jacobs、医師、Academy of Integrative Health & Medicine、元会長

提案24に賛成して、California州プライバシー法 (CALIFORNIA PRIVACY LAWS) を強化しよう

「我々はCalifornia州プライバシー権利法案が抜け穴を防ぎ、施行を強化し、州議会が法案を弱めるのを阻止するのに役立つのを嬉しく思います」 Consumer Reports、Maureen Mahoney、博士

提案24に賛成して、オンラインを利用する子供を守る

「今年、子供たちはオンラインで多くの時間を過ごしています！提案24に賛成して子供たちを守りましょう。これは子供のプライバシーの権利の侵害に三倍の罰則を科す提案です。」 Theodore Judah PTA、代表、Alex Traverso

JAMES P. STEYER、CEO

Common Sense Media

ALICE A. HUFFMAN、代表

California州全米黒人地位向上協会 (California NAACP)

CELINE MACTAGGART、理事長

California州消費者プライバシー団体 (Californians for Consumer Privacy)